

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2007-526331(P2007-526331A)

【公表日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-501990(P2007-501990)

【国際特許分類】

C 07 D 493/22 (2006.01)

A 61 K 31/343 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 37/06 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 493/22 C S P

A 61 K 31/343

A 61 P 35/00

A 61 P 37/06

A 61 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月26日(2008.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

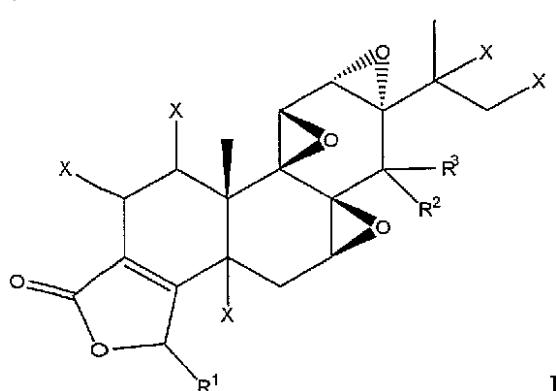
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造I:

【化1】



を有する化合物であって、ここで、

R<sub>1</sub>は、アルキル、アルケニル、アルキニル、アリールアルキル、アリール、アリールアシル、またはC(OH)R<sup>4</sup>R<sup>5</sup>であり

ここで、R<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>は、独立して、水素、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、またはシクロアルケニルであり、水素を除くこれらのいずれかは、アルコキシ、ヒドロキシ、アシルオキシ、またはアリールで置換され得、

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  は、 $\text{CHOH}$  または  $\text{C=O}$  であり、そして  
基 X のうちの多くても 1 つがヒドロキシルであり、残りの基 X は水素である、化合物。

【請求項 2】

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  が  $\text{CHOH}$  である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  が  $\text{CHOH}$  (-ヒドロキシ) である、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

各々の X が水素である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】

各々の前記アルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシ、およびアシリルオキシが、多くても 4 個の炭素原子を含み、各々の前記シクロアルキルおよびシクロアルケニルが、多くても 6 個の炭素原子を含み、そして各々の前記アリールが単環式かつ非複素環式である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 6】

$\text{R}^1$  がアルキル、アルケニルまたは  $\text{C(OH)}\text{R}^4\text{R}^5$  である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

$\text{R}^4$  および  $\text{R}^5$  が、独立して、水素、アルキルまたはアルケニルである、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 8】

$\text{R}^1$  がアルキルまたはヒドロキシアルキルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】

$\text{R}^1$  が  $\text{C}_1 \sim \text{C}_3$  アルキルまたはヒドロキシアルキルである、請求項 8 に記載の化合物。

【請求項 10】

$\text{R}^1$  がメチルである、請求項 9 に記載の化合物。

【請求項 11】

$\text{R}^1$  がアリールアシリルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 12】

$\text{R}^1$  がベンゾイル ( $\text{C(O)C}_6\text{H}_5$ ) である、請求項 11 に記載の化合物。

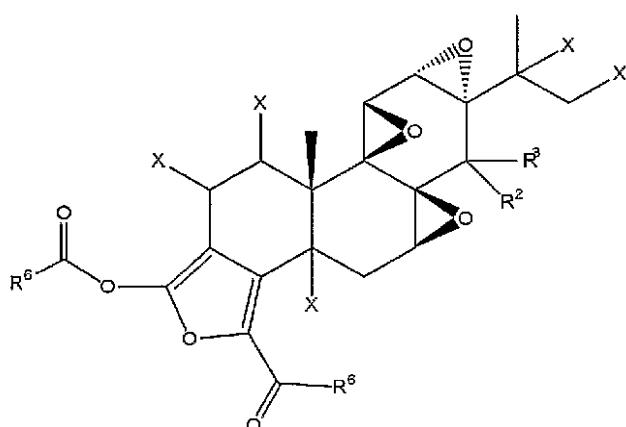
【請求項 13】

$\text{R}^1$  がベンゾイルである、請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 14】

構造 II :

【化 2】



II

を有する化合物であって、ここで、

各々の  $\text{R}^6$  は、独立して、アルキル、アルケニル、アルキニル、またはアリールから選

択され、

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  は  $\text{CH}_2\text{OH}$  または  $\text{C}=\text{O}$  であり、

基 X のうちの多くても 1 つがヒドロキシルであり、残りの基 X は水素である、化合物。

【請求項 1 5】

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  が  $\text{CH}_2\text{OH}$  である、請求項 1 4 に記載の化合物。

【請求項 1 6】

$\text{C R}^2 \text{R}^3$  が  $\text{CH}_2\text{OH}$  (-ヒドロキシ) である、請求項 1 5 に記載の化合物。

【請求項 1 7】

各々の X が水素である、請求項 1 4 に記載の化合物。

【請求項 1 8】

各々の前記アルキル、アルケニル、およびアルキニルが、多くても 4 個の炭素原子を含み、各々の前記アリールが、単環式かつ非複素環式である、請求項 1 4 に記載の化合物。

【請求項 1 9】

各々の R<sup>6</sup> がアリールである、請求項 1 4 に記載の化合物。

【請求項 2 0】

各々の R<sup>6</sup> がフェニルである、請求項 1 9 に記載の化合物。

【請求項 2 1】

被験体において免疫抑制をもたらすための医薬の調製における、請求項 1 または請求項 1 4 に記載の化合物の使用。

【請求項 2 2】

細胞においてアポトーシスを誘導するための医薬の調製における、請求項 1 または請求項 1 4 に記載の化合物の使用。

【請求項 2 3】

被験体において免疫抑制をもたらすための組成物であって、請求項 1 または請求項 1 4 に記載の化合物を含有する組成物。

【請求項 2 4】

該細胞においてアポトーシスを誘導するための組成物であって、請求項 1 または請求項 1 4 に記載の化合物を含有する組成物。